

第3号様式（その4）

| | |
|------------|---------|
| 工場又は事業場の名称 | 新規技術研究所 |
|------------|---------|

3 自主的取組実績の評価

ア (1)の計画年度における削減率についての進捗状況及び達成状況の評価

| 評価 | 計画年度の属する年度 | |
|----|----------------|-----------------------------|
| | 評価の判断基準 | 平成23年度以後 |
| A | 削減率30%以上の場合 → | 計画年度の目標を達成できた。 |
| B | 削減率21~29%の場合 → | 計画年度の目標を概ね達成できた（一部に課題がある。）。 |
| C | 削減率20%以下の場合 → | 計画年度の目標の達成に困難な課題がある。 |

備考 評価の欄は、該当するものを○で囲むこと。

イ 課題と対策

| |
|---|
| ・基準年度比較での排出量を下回ことができ、計画年度の目標を達成。 半導体市況が昨年度以上に上振れしたことにより、生産量（洗浄台数）が増加した。 それに伴い有機溶剤の使用量についても大幅に増加した。 今年度は前年比で若干生産数量が落ち着く見込みであるが、24年度より半導体市況の好転予測があることにより、VOC削減効果の高い対策を継続して検討する必要がある。 |
| |
| |
| |

備考 この項の記載は任意であること。ただし、アの評価の欄がCの場合は、必ず記載すること。